

キャラクター名  
嘉木 常明 (かぎ・つねあき)

プレイヤー名

シンドローム	サラマンダー モルフェウス		ワークス	作業員	カヴァー	UGNイリーガル
	オプション		年齢	29	性別	男
覚醒	渴望	衝動	破壊		初期侵食率	33 %
出自	犯罪者の子	経験	危険な仕事	邂逅	友人	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	27
肉体	3	0	0			3	行動値	13
感覚	2	1	3			6	(非装備時)	13
精神	1	0	0			1	戦闘移動	18
社会	2	0	0			2	全力移動	36

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	4		RC			交渉	1	
回避	1		知覚	1		意志			調達	3	
運転:			芸術:			知識:			情報: 軍事	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
狐火の弓	射撃	6r+2	0	9+5		サラマンダーユニークアイテム

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
ウェポンケース (狐火の弓)	
コネ: UGN幹部	
コネ: 要人への貸し	
コネ: 情報収集チーム	

合計装甲: 0    合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
No.50 究極のゼロ (アブリュート・ゼロ)	P	N		
鈴谷涼子	P 感服	N 恐怖		
犬神斗倉	P 遺志	N 憤懣		
七塚ユウ	P 執着	N 嫌悪		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 10    残り財産P: 5

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
水晶の剣	4	4	メジャー					
効果:	武器攻撃力Lv*2、シナリオ3回							
氷の回廊	1	1	マイナー					
効果:	飛行状態で移動、距離+Lv*2m							
フレイムタン	3	2	メジャー	視界	-	射		
効果:	視界変更、攻撃力-(5-Lv) ※『狐火の弓』により<射撃>変更							
コンセ: サラマンダー	2	2	メジャー			シ		
効果:	いつもの							
狐火の弓	3		武器					
効果:	武器参照、ユニーク							
不燃体	★							
効果:	もう、熱くも寒くもない							
テクスチャーチェンジ	★							
効果:	「狐火の弓」を銃にする							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

テロリストに作業員として育てられたが、大規模なレネゲイド事象に巻き込まれて覚醒、運悪く(運良く)UGNに捕縛され、なんかかんやあって情状酌量の余地ありとして"首輪付き"でUGNエージェントとして再起、その後順調に信頼を勝ち取っていった。特に「相棒」と組むようになってからの戦果・態度の改善は顕著であり、そのうち他のエージェントとの差異は無くなっていった。しかし「七塚ユウ」に「相棒」を殺されたことをきっかけにUGNエージェントを辞め、現在は、イリーガルとしてUGNに協力しつつ、独自で"アセッション"及び七塚ユウを追っている。

(かぎ・つねあき) → アカギツネ  
"架空虚空 (フェアリー・ナイン)" → 空狐、フェアリーテール、ナインテール

一人称: (ビジネス) 私、(プライベート) 俺  
二人称: 君、貴方、コードネーム  
口調: 口数は少なく、淡泊。やや投げやりな一面も。本来はどちらかと言えば喋る方だった。  
挨拶 1 「……"架空虚空 (フェアリー・ナイン)"。よろしく」  
挨拶 2 「この顔か。未熟な頃に、自分で焼いたんだ。それ以来、もう、熱くも寒くもない」  
好感度 (弱) 「まだ何か? 用がないなら話しかけられないで欲しいな。私はね、こう見えて結構忙しいんだよ」  
好感度 (中) 「……変な人だ。でも悪い気はしないな。いいよ、少しなら付き合ってあげる」  
好感度 (強) 「俺の前であまり危ない目に合わないでくれないかな! 心臓に悪いんだよ……」  
プライベート 「あまり言わせないでくれ。忙しいんだ」  
ビジネス 「仕事ならやるよ。さあ、さっさと要件を話して」  
会話 1 「私にとって大事なことは非常に少ない。わかったらその無駄口をやめてくれないかな」  
会話 2 「復讐……なんてさ、ありふれた動機だよな。でも、それが無いと生きてもいけない人間だっているんだよ」  
会話 3 「私の氷は炎すら凍てつかせる。さあ……逃げられるかな?」